

# 7 きずの手当

教科書 P78～79

ワークシート

ノート 2年 P30,31

## 《きずの手当の基本》

- ①(出血)を止める
- ②(細菌感染)を防ぐ
- ③(痛み)を和らげる



# 《いろいろなきずの手当》

## 「切り傷・刺し傷・擦り傷」

- ・汚れを(洗い流す)
- ・消毒し、(ガーゼ)を当てて包帯する

(注)傷口に直接綿やちり紙を当てない。繊維が残る

## 「やけど」

- ・痛みが引くまで、(冷水)で冷やす

(注)細菌感染防止のため、水ぶくれは潰さない

(注)医師の診断を受けるまでは薬を使わない



# 《いろいろなきずの手当》

## 「鼻血」

- ・鼻をつまみ静かに座る
- ・(額)から(鼻)にかけて冷やす  
(注)綿やちり紙を用いない。繊維が残る  
(注)首の後ろを叩かない。頭を後ろに反らさない

## 「打撲」

- ・冷やして、安静に  
(注)意識がない場合はやたらにゆすったりしない

## 「毒虫に刺された」

- ・(針)を取り除く。水で洗い、冷やす



# 《捻挫・打撲等の対応》

R (est)・・・休息

I (ce)・・・冷却

C (ompression)・・・圧迫

E (levation)・・・挙上



# 《止血法》

\* 全血液量の(1)/(3)以上を失血

→ (生命)に危険

「(直接圧迫)止血法」

・傷口に直接ガーゼなどを当てて圧迫する

\* 止血できない場合

→ (間接圧迫止血法)を併用

→ 止血帯法



## \* 教師の願い

保健は（**実践**）の学問！

知識として頭に入れてるだけでは**全く意味がない！**

学んだことを生活の中で活かし、健康で（**ここは人それぞれ**）な人生にしていこう(^\_^)v